

事業名	機構集積支援事業
-----	----------

総事業費	353 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農地利用の最適化

② 実施 (Do)

事業の意図		農業生産力の増進と農業経営の合理化を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	農地の利用状況確認のための研修と合同現地調査による調査内容や判断の確認を行った。農業委員及び農地利用最適化推進委員による現地調査による利用状況確認を行い、遊休農地所有へ利用意向確認のための通知を発送した。荒廃農地や今後農地としての利用が見込めない農地への非農地判断を行い、農地所有者へ通知書を発送した。
	成 果	遊休農地の早期発見により借り手への情報発信により耕作へ結びついている。 非農地通知を発送し、農地以外の地目変更を促すことにより、正確な農地情報の整備につなげることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	遊休農地と非農地として判断した農地が年々増加している状況であり、農家の高齢化や離農による担い手不足が危惧されている。「使える農地」を「使えるうち」に「使える人」へ、農業委員等の訪問活動により、農地の有効利用に結び付けていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	農地利用最適化5年間の取り組みの継続と、具体的な成果の確保を目指して新段階への取り組み(「農地利用最適化ver.2.0」)の強化が必要な情勢となっており、 ①農業委員・推進委員一人ひとりの活動内容の見える化 ②農地台帳の着実な整備と「農地情報公開システム」の利用促進 ③農地利用最適化3つの課題への取り組み強化と成果の確保 を重点事項として取り組む。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	中間管理事業を利用した担い手等への農地の集積・集約
-----------	---------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	遊休農地解消対策事業
-----	------------

総事業費	1,352 千円
------	---------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農地利用の最適化

② 実施 (Do)

事業の意図			農業生産力の増進と農業経営の合理化を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	事業利用により377aの農地が再生され農地の有効利用が図られた。	
	成 果	農家の減少により農地が余っている状況であり、遊休農地の再生まで行う農家が少ない。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	農家の減少により農地が余っている状況であり、遊休農地の再生まで行う農家が少ない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	農地利用最適化5年間の取り組みの継続と、具体的な成果の確保を目指して新段階への取り組み（「農地利用最適化ver.2.0」）の強化が必要な情勢となってことから、 ①農業委員・推進委員一人ひとりの活動内容の見える化 ②農地台帳の着実な整備と「農地情報公開システム」の利用促進 ③農地利用最適化3つの課題への取り組み強化と成果の確保 を重点事項として取り組むたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	遊休農地の解消により農地の有効利用を目指す。
-----------	------------------------

【参考資料】	
※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明